

# ASKUL

The Social Responsibility of ASKUL

---

アスクルの社会的責任

---

2010年5月期

安心できる商品を、  
無駄なく  
お届けすることが  
私達の社会的責任です。



アスクルをスタートした時、私達の胸の内にあったのは「お客様に対して、いつも最良のサービスを提供できる会社でありたい」「より社会に適した、効率的な流通モデルで商品をお届けしたい」という思いでした。もちろん、お客様にとって何が「最良」なのか、「社会最適」なのかは、時代とともに変化していきます。CSR(企業の社会的責任)という言葉が注目されている今の時代においては、環境問題などに取り組んでいくことが、企業にとって間違いなく最重要課題の一つになっています。

私達は、まず「安心できる商品を、無駄なくお届けする」ことが社会的責任を果たす第一歩だと考え、さまざまな取り組みをスタートさせています。「お客様のために進化する」を企業理念に掲げる以上、この冊子でご紹介している活動だけではなく、環境・社会活動を進化させていかなくはなりません。やるべきことは、まだまだたくさんありますが、泥臭くても全力で取り組んでいきます。

# 2009年、 アスクルはお客様と 「5つの約束」を しました。

アスクルの事業活動を  
「仕入・調達」「開発・選定」  
「社内管理」「販売・配送」  
「回収・循環」と大きく5つに区分し、  
それぞれの段階で果たすべき  
重要なテーマを明文化したのが  
「5つの約束」です。

約束

# 1

仕入・調達

## 環境負荷が少ない 商品調達を 推進します。

お客様の購買動向、  
仕入・調達のプロセスを詳細に分析し、  
より環境負荷が少ない効率的な  
商品調達を推進します。



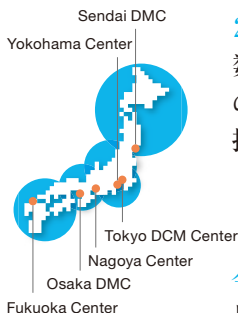
### 2010年5月期の活動結果

数百社に上るサプライヤー様のご協力のもと、仕入・調達プロセスにおけるCO<sub>2</sub>排出量を算出し、見える化を行いました。



### 今後の目標

見える化した結果をもとに、具体的な削減目標を設定。サプライヤー様とともに、より効率的な仕入・調達を進め、目標を着実に実行していきます。



効率的なお届けをするために  
全国に配置された  
物流センター。

# 2

## 環境に配慮した 商品を開発・選定します。

価格や品質だけではなく、  
環境にも配慮した  
商品を開発・選定し、  
ご提供します。



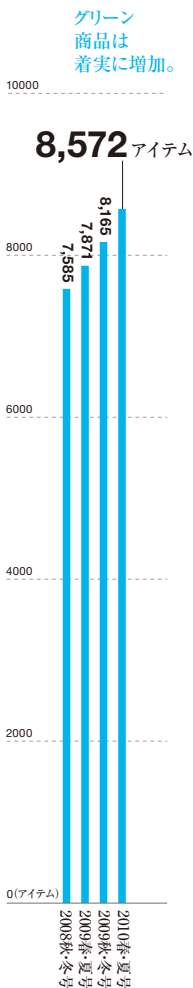
### 2010年5月期の活動結果

オリジナル商品の環境基準を改めて整理。この基準に沿った商品が、オリジナル商品全体の約60%になりました。また、取扱商品全体では、グリーン商品が約8500アイテムまで増えています。



### 今後の目標

2011年までにオリジナル商品の  
環境対応100%を目指します。



ノック式油性ボールペン

再生素材を使い、  
ロング芯で  
ゴミも削減。

グリーン商品  
アイテム数  
推移

# 3

## 事業所の省エネ・省資源を徹底します。

事業所の省エネルギー、省資源を徹底するとともに、業務の効率化を進め、コストの削減を図ります。



### 2010年5月期の活動結果

省エネは、削減目標未達成。より具体的な施策の必要性を痛感しました。資源消費の面では、分別の徹底による有価売却の拡大などで、目標を達成することができました。

事業所における削減目標と達成状況

達成状況	総量	削減目標	実績	評価
CO <sub>2</sub> 排出量	10,303 (t-CO <sub>2</sub> )	-10% →	-3.6%	×
資源消費量	17,067 (t)	-10% →	-18.6%	○

※削減目標ならびに実績は、すべて基準年(2008年5月期)に対する原単位の数値になります。



### 今後の目標

各事業所における具体的な省エネ施策の展開と、廃棄物の総量削減を進めていきます。



本社オフィス(e-tailing center)



# 4

## サービスと環境配慮を 両立した販売・配送を 行います。

お客様への配送プロセスにおける  
CO<sub>2</sub>排出量を詳細に分析し、  
サービスを進化させながら  
環境負荷も減らした販売・配送を行います。



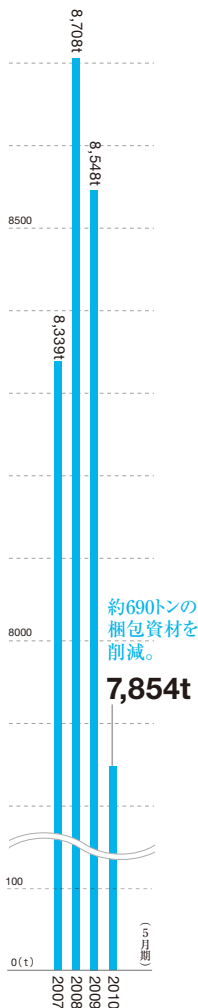
### 2010年5月期の活動結果

ECO-TURN(読み方:エコターン)配送  
を本格稼働させることで梱包資材の使  
用量が削減。また、配送プロセスにおける  
CO<sub>2</sub>排出量を算出し、見える化を行いま  
した。



### 今後の目標

ECO-TURN配送のさらなるエリア拡大  
と、CO<sub>2</sub>排出量を見える化した結果をも  
とに、具体的な削減目標を設定。目標を  
着実に実行していきます。



物流センター(大阪DMC)

物流センターにおける  
梱包資材  
使用量推移

# 5

## 回収サービスの拡大・充実を図ります。

回収サービスの拡大・充実を図り、資源循環に向けて活動の輪を広げていきます。



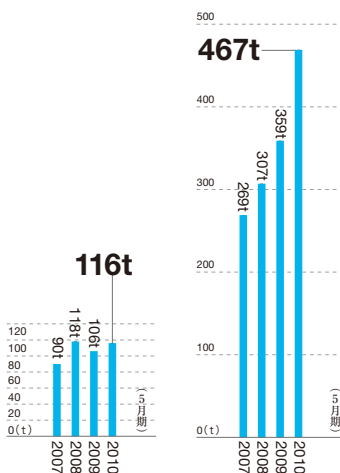
### 2010年5月期の活動結果

カタログ、ダンボール、トナーなどの回収サービスを徹底し、ダンボールについては前年より回収量が約100トン増加。また、カタログ表現の改善などにより、商品の返品率を約30%削減(2007年5月期比)できています。



### 今後の目標

回収サービスのエリア拡大などを通じて回収量をより拡大。返品対策にも精力的に取り組む、「わけあり品」の販売などを中心にさらに進化させていきます。



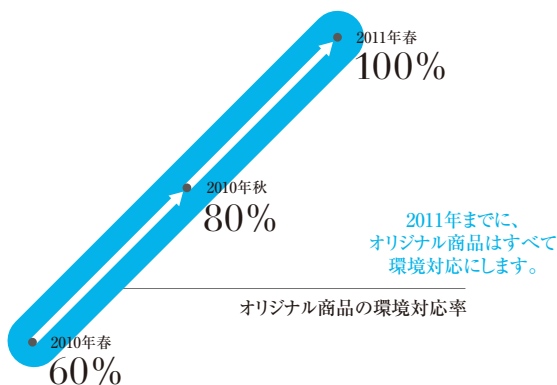
カタログ  
回収量  
推移

ダンボール  
回収量  
推移

# 安心して お使いいただける 商品を作ります。

「価格」「デザイン性」  
「環境対応」  
すべて揃った  
気持ちのいいバランス。

今、お客様が商品に求めているのは、不況の影響もあって「価格」が重要な要素だと思います。ただし、「価格がすべて」かといえば、そうではありません。オフィスに置くと気分が良くなったり、お子様やお年寄りがいらっしゃるような施設で気持ち明るくなるようなデザイン性も求められています。また、「環境にも優しい商品であれば、もっといい」という意識もお客様の間で浸透しています。例えば省エネにつながったり、ゴミを減らすことができたり、環境や健康への影響が少ない商品。アスクルでは、2011年までにすべてのオリジナル商品を、そういった視点で作られた環境対応商品にする取り組みも進めています。「価格」「デザイン性」「環境対応」…アスクルがお届けするのは、すべて揃った気持ちのいいバランスの商品でありたいと考えています。







### 紙カップリーフ

原材料に間伐材を使用。  
美しい北欧デザインで、  
価格もお手頃。



### アスクルオリジナルノート

再生紙100%。  
価格は抑えて、  
表紙はペンで書き込める  
シンプルなデザインに。

# ご購入いただいた商品を 無駄なく お届けします。

お客様のひと言から  
始まった、  
循環型配送。

お客様の声がかきつけになって、環境への取り組みが進化する。そんなことが、私達の職場では実際に起きています。その代表的なケースが「ECO-TURN（読み方:エコターン）配送」。商品をお届けした後、お客様のお手元に梱包材や緩衝材が残り、無駄になってしまうことを「どうにかできないか」とご指摘いただいたことでECO-TURN配送—折りたたみコンテナやリターナブルバッグによって商品をお届けし、アスクルが回収、再び配送に使用する仕組み—は生まれました。今では、ECO-TURN配送対象エリアにおけるアスクルアリーナの約88%のお客様にご利用いただいています。私達が大切にしていることは、「環境問題」という概念だけに根ざすのではなく、常にお客様の声に耳を傾け、一人の生活者としての素直な感覚を忘れずに実直に取り組んでいくことだと思っています。

（ ECO-TURN配送の梱包資材削減目標と実績の途中経過 ）



※上記数値はECO-TURN配送の  
実績をベースに削減が想定される  
梱包資材の重量を試算したものです。



( 通常の梱包資材 )

折りたたみコンテナ

リターナブルバッグ



( ECO-TURN配送 )

ECO-TURN配送は、  
お客様の手間を減らすだけでなく、  
前期1年でこれだけの  
環境負荷を削減できました。



# お客様のCSR調達も トータルに サポートします。

企業と企業の中間に  
立つ役割だからこそ、  
環境・CSRのために  
できること。

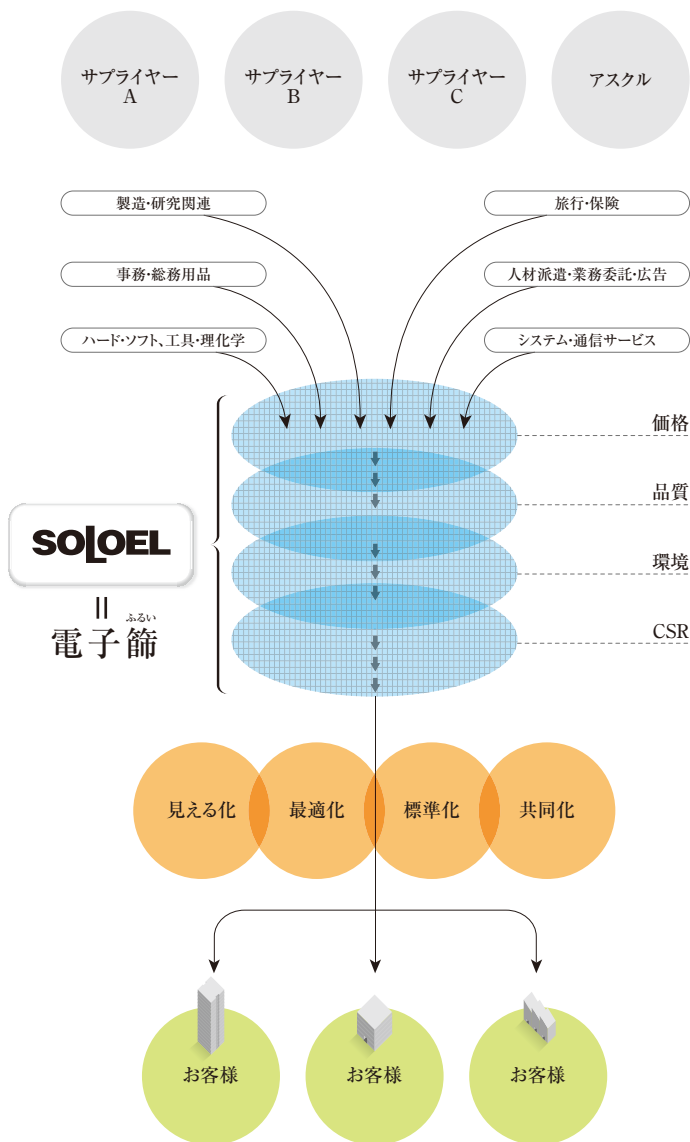
アスクルは2008年に、大企業のお客様を対象とした  
間接材一括購買サービス「SOLOEL(ソロエル)」をス  
タートさせました。SOLOELは、これまでお客様の各事  
業所、各部署が個別に行っていた間接材の購買業務を  
トータルにサポートさせていただく新しい電子購買サー  
ビスです。

お客様の間接材購買の“見える化”を進め、価格や品  
質だけでなく、環境・CSRの面からも、商品やサービス、  
その供給元であるサプライヤー様を、SOLOELがお客  
様に代わって評価。お客様が安心してご購入いただけ  
る、最適な間接材購買をご提案します。

この企業と企業の中間に立つ独特な役割だからこそ、  
お客様やサプライヤー様と環境やCSRに対する意識を  
共有し、「社会最適」の輪を広げていくことで“アスクル  
らしさ”を発揮できればと思っています。

## SOLOELの仕組み

SOLOELのプラットフォームの中心にあるのは、環境・CSRへの配慮、コスト、品質などのポイントで商品のセレクトをする電子篩(ふるい)です。



WWFジャパンの活動を支援

# アスクルの 社会貢献活動も 進化します。

お客様と  
一緒に進められる  
社会貢献活動を  
目指していきます。

アスクルでは、社会貢献活動の一環として、2002年より、WWFジャパンの活動を支援するために寄付を行っています。現在は、オリジナルのFSC認証製品の売上の一部を寄付しており、「アジア森林保全支援プロジェクト」として、インドネシアやロシア極東地域を中心に、野生動物や森林の保全活動に活かされています。2010年3月には、現地で具体的にどのような成果が出てきているのかを確認するため、WWFの皆様とともにインドネシアスマトラ島の現地視察を行いました。

私達の次の進化は、お客様と一緒に社会貢献活動を進めることだと思っています。現状では売上の一部を寄付するという形ですが、お客様のお買い物が貴重な野生動物や森林を守る具体的な活動につながることによって、次のステップが見えてきました。今後もお客様と一緒に進められる、新たな形の社会貢献活動をご提案していきたいと考えています。



スマトラ島では  
ゾウを使った  
森林パトロールなどに  
同行しました。



現地の方々との  
ふれあいや  
違法伐採現場の  
視察など、貴重な  
体験ができました。

アスクールについて

# アスクルの 事業活動がわかる メディア一覧

アスクールは、お客様、サプライヤー様、株主様、従業員など、アスクールを取り巻くさまざまなステークホルダーの目的や目線に合わせて、冊子およびWebサイトにおいて会社情報をお伝えし、多くの方々にアスクルの環境・社会活動の取り組みをご理解いただけるように努めています。

## 環境・社会活動報告

アスクルの環境・社会活動の考え方や具体的な取り組みなどをご紹介します。本冊子には掲載していない詳細な各種データ類はWebサイトをご覧ください。



➔ <http://www.askul.co.jp/csr/>

会社案内 <http://www.askul.co.jp/kaisya/index.html>

IR情報 <http://ir.askul.co.jp/>

アスクール・インターネットショップ <http://www.askul.co.jp/>

スピードプリントセンター <http://spc.askul.co.jp/>

アスクールアリーナ <https://askularena.askul.co.jp/info/>

## お問い合わせ先

ご注文、商品等に関するお問い合わせは、右記までお願いいたします。

アスクールお問い合わせセンター  
電話／0120-345-861  
受付時間／月曜～土曜  
午前8時～午後8時(日・祝日除く)

本冊子ならびに環境・社会活動に関するお問い合わせは、右記までお願いいたします。

アスクール株式会社／CSR推進  
〒135-0053  
東京都江東区辰巳3-8-10  
電話／03-3522-8067  
ファックス／03-3522-8501  
e-mail : ecoaskul@askul.co.jp

page	3	約束1／仕入・調達 環境負荷が少ない 商品調達を 推進します。
page	4	約束2／開発・選定 環境に配慮した 商品を 開発・選定します。
page	5	約束3／社内管理 事業所の 省エネ・省資源を 徹底します。
page	6	約束4／販売・配送 サービスと環境配慮を 両立した販売・配送を 行います。
page	7	約束5／回収・循環 回収サービスの 拡大・充実を 図ります。
page	8	アスクルにできること／その1 安心して お使いいただける 商品を作ります。
page	10	アスクルにできること／その2 ご購入いただいた 商品を無駄なく お届けします。
page	12	アスクルにできること／その3 お客様のCSR調達も トータルに サポートします。
page	14	WWFジャパンの活動を支援 アスクルの 社会貢献活動も 進化します。
page	15	アスクルについて アスクルの 事業活動がわかる メディア一覧



ミックス品

FSC認証林及び管理された  
森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001196  
© 1996 Forest Stewardship Council